



第42回
全国環整連全国大会
in GIFU

開 催 要 綱

平成28年
10月31日(月)・11月1日(火)

岐阜グランドホテル

主催：全国環境整備事業協同組合連合会

担当：全国環整連東海・近畿地区協議会 岐阜県環境整備事業協同組合

後援：環境省・岐阜県・岐阜市・岐阜県市長会・岐阜県町村会

第42回 全国環整連全国大会の開催にあたり

市町村の一般廃棄物処理業務は、市町村が策定する一般廃棄物処理計画に基づき直営若しくは業者に委託・許可により実施されています。

合特法（下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法）の目的は「一般廃棄物処理業等が下水道整備等により受ける著しい影響を緩和し併せて経営の近代化及び規模の適正化を図るための計画を策定し、その実施を推進する等の措置を講ずることにより、その業務の安定を保持するとともに廃棄物の適正な処理に資すること」とあり、し尿の処理及びし尿浄化槽の清掃の適正な実施を確保するためには、これらの事業は、下水道の終末処理場によるし尿処理への転換が完了する直前まで、その全体の規模を縮小しつつも、継続して行わなければならないとしました。

市町村における下水道整備事業に係る財政は、企業会計であるにもかかわらず一般会計からの補てんに依存せざるを得ない現実があり、さらに人口減少となると市町村財政は一層厳しくなることは予想できます。

下水道など集合処理は、下水道整備の宿命ともいえる小中河川の渇水現象を招き、一方で浄化槽は、日本で発明され時代と共に処理機能は進化し下水道と同等の処理水が確保できます。水環境保全の観点からすると下水道以上の効果をもたらします。

浄化槽は下水道と比較して安価で工期も短く、自治体財政負担の軽減、災害時のリスク分散の観点からも社会的な関心が高まってきていますが、保守点検・清掃、法定検査3業種維持管理の問題は全国的に解決されていないまま、設置者は維持管理業者と契約している状況があります。

ごみ処理は、環境負荷の低減、最終処分量の削減のため、処分からリサイクルへと移行して来ましたが、分別排出の不徹底、自治体財政負担の増加から一部では焼却に逆戻りする自治体も発生しています。

本大会では、廃棄物の適正処理、適正な浄化槽維持管理業務の在り方を議論し業界のあるべき姿を確認することを目的に開催します。

岐阜県環境整備事業協同組合

理事長 牧野 好晃

大会実行委員長 田中 剛



式 辞 「新たな信頼」

全国環境整備事業協同組合連合会
会長 玉川 福和

岐阜県知事をはじめ多くのご来賓の出席を得て「清流の国ぎふ」の地で全国環境整備事業協同組合連合会第42回全国大会を開催するにあたり式辞を述べます。

2001年9月11日 アメリカ同時多発テロから15年、イラク戦争、アフガニスタン戦争、シリアに対しては連日無人機による空爆は罪無き人たちの家族を殺害し、家を奪い、難民は1,100万人を越え、犠牲者は今後も増え続ける。

テロとの戦いは誰と戦っているのか。

誰もが疑問を持ちながら 声を出さない 現実社会がある。

「人類の能力の未熟さを感じる。」

国内においては、政治家の政務活動費不正受給、業界では三菱自動車の不正燃費偽装、次は何かを考えると医療関係かと答える。

本日の分科会で合特法・ごみ・浄化槽の関係を3つの会場で議論をします。

合特法については、

平成23年1月佐賀地裁にて原告が勝訴。

平成24年4月には福岡高裁で被告であった行政が勝訴。

平成26年4月最高裁にて上告棄却で行政の主張が是認された結果を検証します。

ごみの分科会で、新しい事件であるココ壳番屋のカツ横流しをテーマにします。上辺の薄い部分を見ると、産廃業者の単純な事件のように思うが、少し考えると料金問題であることが解る。

廃棄物を処理するにはリサイクル費・処分費・運搬費・最近は中間業者による経費が必要になる。「赤字になれば不正事件に発展する。」

どこに問題があったかは、本日の分科会 循環資源部会で取り上げ答えを出します。

浄化槽の分科会では、岐阜県内の浄化槽に関する保守点検・清掃・法定検査の3つの業種の業者が統一ソフトによるタブレットを利用して3業種がどの様に連携して良好な処理水質を得ようとしているか、「清流の国ぎふ」作りにどの様に関わっているのかを検証します。

やがて消滅するとされている業種であっても、火が消える直前まで「新たな信頼」が得られるよう「人として全力で与えられた仕事に取り組む必要が有る。」以上



祝　辞

環境省大臣官房

廃棄物・リサイクル対策部長 中井　徳太郎

全国環境整備事業協同組合連合会第42回全国大会が、岐阜県岐阜市におきまして盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

貴連合会の皆様方が、一般廃棄物の適正処理や浄化槽の清掃など、日頃より生活環境の保全、公衆衛生の向上のために御尽力されていることに対し、深く敬意を表するとともに、廃棄物・リサイクル行政の推進に格段のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災の発生から5年が経過し、復興は新たなステージに入り、さらなる加速が求められています。被災地の復旧・復興の大前提である災害廃棄物処理は、廃棄物・リサイクル行政の大きな課題であり、環境省では、東日本大震災の災害廃棄物処理に引き続き全力で取り組むとともに、将来にわたり地域社会・暮らしを支えるため、一般廃棄物処理施設の早急かつ適切な更新及び浄化槽の整備を進めてまいります。また、熊本地震等近年の震災の経験を踏まえ、今後想定される大規模災害も念頭に、災害廃棄物の円滑な処理体制の確保及び処理施設の防災拠点化等の強靭化対策を進めてまいります。

災害廃棄物対策については、昨年の法改正を踏まえ、全国レベル・地域レベルでの対応の充実を図っています。今年4月に発生した熊本地震から半年が経過し、被災地の復興に向けて損壊家屋の撤去が本格化しつつあります。この地震への対応については、災害時における初動対応の重要性が再認識されました。このため、熊本地震での初動対応等を検証し、災害時における国、地方公共団体、事業者等の連携協力等、災害に強い廃棄物処理システムの構築等を更に進めてまいります。

浄化槽については、これから社会情勢に対応した最適な汚水処理システムとして、その役割はますます大きくなっていくものと認識しています。このため、災害に強い特徴を活かした浄化槽の整備の推進と維持管理の徹底を図ることにより、汚水処理の未普及解消を進めるとともに、環境配慮型浄化槽の普及により地球温暖化対策にも取り組み、地域の水環境保全や災害に強い低炭素なまちづくりに貢献してまいります。

最後に、全国環境整備事業協同組合連合会の今後益々の御発展と会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝　辞

岐阜県知事
古田　肇

全国環境整備事業協同組合連合会の第42回全国大会が、ここ岐阜県で盛大に開催されますことをお喜び申し上げるとともに、全国各地からお越しいただいた皆様を心から歓迎いたします。

貴連合会会員の皆様におかれましては、永年にわたり一般廃棄物の処理や浄化槽の清掃業務を通じて、生活環境の保全や公衆衛生の向上にご尽力いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

また、4月に発生しました熊本地震をはじめ、大規模災害が発生した際には、被災地のごみや、仮設トイレなどのし尿の収集運搬を応援するため、いち早く組合員を派遣されるなど、被災地の復旧に積極的に携わられておられることに、心から敬意を表する次第です。

南海トラフ巨大地震などの発生が懸念されている本県においても、本年3月、これら災害により生ずる災害廃棄物を、迅速かつ適切な処理を行うための計画を策定したところです。

その中でも浄化槽は、少子高齢化・人口減少社会において、効率的・経済的かつ柔軟に、社会ニーズに応え続けることができる分散型インフラであり、被災時にも迅速に衛生環境を確保できる強靭な汚水処理システムとして、地域に安心を与えるものであると考えています。

ここ岐阜県は、古くから山紫水明の地として、豊かな自然や水環境の恩恵を享受してきました。

清流の恵みに感謝し、清流に育まれた自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとし、活かし、伝えていく「清流の国ぎふ」づくりを進めてきた中、昨年12月これらの取組みが評価され、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されたところです。

「清流の国ぎふ」において関係者の皆様が一堂に会し、浄化槽やごみ処理の将来・災害時における危機管理体制の構築といった観点からご議論いただくことは、誠に意義深いものと考えており、本大会で取りまとめられた結果が50年先、100年先に繋がる持続可能な環境社会を築いていくことを、心より願っております。

最後に、全国環境整備事業協同組合連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝　辞

岐阜市長
細江 茂光

全国環境整備事業協同組合連合会第42回全国大会が岐阜市において盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

また、貴連合会におかれましては、日ごろより一般廃棄物の処理、浄化槽の維持管理など、地域の環境保全と公衆衛生の向上のためにご尽力されていることに深く敬意を表します。

さて、岐阜市は、日本列島のほぼ真ん中に位置する岐阜県の県都であるとともに、豊富な自然や歴史・文化に恵まれた地でもあります。市内中央部を東西に流れる長良川は、昭和60年に環境庁（現環境省）から「名水百選」に選ばれたほか、平成13年には全国で唯一河川から「日本の水浴場88選」に選定されるといった、日本屈指の清流であります。その長良川では、国の重要無形民俗文化財で、1300年以上の伝統を誇る「ぎふ長良川鵜飼」が脈々と受け継がれており、現在はユネスコ世界無形文化遺産の登録に向け、市民とともに取り組んでいるところです。

一方、長良川の畔には緑豊かな金華山が聳えており、その頂には織田信長公ゆかりの岐阜城を構え、眼下にはかつて楽市楽座が栄えた城下町の風情が今も息づいています。このような歴史文化が織りなす長良川中流域は、国の「重要文化的景観」に選定されるとともに、昨年には、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜として日本遺産に認定されるなど、近年、国内の評価も高まっております。

こうした中、平成29年に、信長公が岐阜城に入城し、この地を「岐阜」と命名してから450年の節目を迎えるにあたり、本市では「信長公ゆかりのまち・岐阜市」を都市ブランドとして発信する「岐阜市信長公450プロジェクト」を推進しているところです。

このようなかけがえのない地域固有の財産を守り、育て、次世代に受け継いでいくことは今を生きる私たちに課せられた使命であるとともに、環境負荷を低減し、大切な生活環境を保全することは今や地球規模で取り組むべき重要な課題であります。現在、本市では、岐阜市総合計画「ぎふ躍動プラン・21」に基づき、便利で快適な都市の実現のため、ごみの減量・資源化の推進を環境政策の基本方針として位置づけ、ごみや生活排水の適正処理はもとより、廃棄物の排出抑制や不法投棄の防止、資源のリサイクル、省エネルギーへの対応など、地球にやさしいまちづくりを推進しております。

本大会では、日ごろから生活環境の維持向上のために重要な社会的役割を担っておられる会員の皆様が、環境に関する諸問題について議論を深められることにより、循環共生型社会の構築に向けた取り組みが大きく飛躍することを期待しております。

最後に、全国環境整備事業協同組合連合会の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

大会式典

日 程	平成28年10月31日（月）
受 付	11：30～13：00
式 典	13：00～14：15
会 場	岐阜グランドホテル西館地下1階 「ロイヤルシアター」

次 第

1. 開会
2. 大会旗入場
3. 物故者に対する黙祷
4. 開会の辞
5. 大会式辞
6. 優良従業員表彰・受賞者代表謝辞
7. 優良役員表彰・受賞者代表謝辞
8. 来賓祝辞
9. 来賓紹介
10. 閉会の辞

全国環整連第42回全国大会 優良従業員・優良役員表彰者

優良従業員表彰（勤続40年の部）

(敬称略)

氏名	所属企業	所属組合
さいとう よしお 斎藤 良四男	(有)秋田衛生社	秋田県環境整備事業協同組合
わかはら ちひろ 若原 千裕	中衛工業(株)	岐阜県環境整備事業協同組合
まえだ ながお 前田 長雄	(株)龍田衛生社	和歌山県環境整備事業協同組合
こうやま ひろし 甲山 寛	(株)尾崎衛生舎	//

合計4名

優良従業員表彰（勤続30年の部）

(敬称略)

氏名	所属企業	所属組合
いわた ひさこ 岩田 久子	(有)十和田浄化槽センター	青森県環境整備事業協同組合
まつもと むねお 松本 宗士	鹿角衛生 協業組合	秋田県環境整備事業協同組合
あんぽ まさし 安保 正志	//	//
おおさわ ひろあき 大沢 博昭	高山清掃事業(株)	岐阜県環境整備事業協同組合
かわたに おさむ 川谷 修	大昭工業(株)	//
みつむら ひろはる 三ツ村 広治	中衛工業(株)	//

合計6名

優良従業員表彰（勤続20年の部）

(敬称略)

氏名	所属企業	所属組合
かわはた ゆきひろ 川畠 幸博	(有)十和田浄化槽センター	青森県環境整備事業協同組合
いのまた きよと 猪股 清人	協業組合 富谷環境	宮城県環境整備事業協同組合
こまつ はつお 小松 初男	//	//
かとう てるお 加藤 輝男	いわき市環境整備事業協同組合	福島県環境整備協同組合連合会
きくち のぶよし 菊池 信義	//	//
むなかた つとむ 宗方 勉	勿来清興（株）	//
おどり みゆき 小鳥 みゆき	高山清掃事業（株）	岐阜県環境整備事業協同組合
つじい のぶあき 辻井 伸明	（株）神岡衛生社	//
くまざき つよし 熊崎 剛	（有）益田清掃社	//
たけやま かずやす 武山 和康	（有）御嵩衛生社	//
ほしや のりお 星谷 典男	東清（株）	//
やまだ かずお 山田 一夫	各務原衛生（株）	//
なかむら まこと 中村 誠	中央清掃（株）	//
たみや ともはる 田宮 友晴	東海環境事業（株）	//
くまさき しゅんじ 熊崎 俊仁	大西衛生（株）	京都府環境整備事業協同組合
やまぐち あつし 山口 厚	（株）かんとーす	//
おざき たかゆき 尾崎 隆之	（株）尾崎衛生舎	和歌山県環境整備事業協同組合
やすもと しょうへい 保本 晶平	（有）溝畠	//
ひさゆき さやか 久行 さやか	（有）東環	広島県環境整備事業協同組合

合計19名

優良従業員表彰（勤続15年の部）

(敬称略)

氏名	所属企業	所属組合
ぬまた つよし 沼田 剛	協業組合 富谷環境	宮城県環境整備事業協同組合
ほし ゆうじ 星 雄二	//	//
こむろ しんいち 小室 伸一	//	//
えんどう ひであき 遠藤 秀晃	協業組合 県北清掃公社	//
こもろがわ たかのり 衣川 貴章	//	//
やすかわ たけし 安川 武士	第一清掃（有）	福島県環境整備協同組合連合会
いのまた よしなり 猪俣 善成	//	//
ひぐち りゅうた 樋口 龍太	(有) 新津清掃社	新潟県環境整備事業協同組合
くまき かずお 熊木 数男	//	//
やまもと たかひさ 山本 貴久	(株) 鳥羽産業	三重県環境整備事業協同組合
みなみ たかあき 南 孝明	//	//
たにぐち よしゆき 谷口 義幸	(株) かんとーす	京都府環境整備事業協同組合
なかやま みのる 中山 実	//	//
やました まもる 山下 守	(株) 丹後衛生公社	//
あべ ひろし 阿部 博士	大西衛生（株）	//
むらかみ かつしげ 村上 勝重	//	//
たばた たかお 田畠 孝雄	//	//
おおはし としひこ 大橋 稔彦	//	//
なかむら しゅうじ 中村 周二	小椋リビングクリーン（株）	和歌山県環境整備事業協同組合

合計19名

優良役員表彰

(敬称略)

氏名	所属企業	所属組合
たかはし みつる 高橋 光	(有) 宇高興業	宮城県環境整備事業協同組合
ほりごめ たいち 堀籠 太一	協業組合 富谷環境	//
まつき ひろし 松木 弘	置腸クリーン設備(株)	山形県環境整備事業協同組合
かんの しょうじ 菅野 捷二	(有) 梁川衛生社	福島県環境整備協同組合連合会
あらい さだお 新井 貞雄	新井産業(有)	//
えんどう まさゆき 遠藤 正幸	(有) 遠藤産業	//
かきもと きみひで 柿本 公秀	高山清掃事業(株)	岐阜県環境整備事業協同組合
わかだ よしみ 若田 好三	各務原衛生(株)	//
あとべ しゅうほう 跡部 秀峯	大垣メンテナンス(株)	//

合計9名

分科会

A会場 「合特法」 西館2階「ロイヤルホール(月・花の間)」

司会 本長 糧太

【第一部】

・14:30～15:35

講演 「廃棄物処理法と合特法」

林勘市法律事務所 代表弁護士 林 勘市 様

・15:35～15:45 休憩

【第二部】

・15:45～17:30

テーマ「廃棄物処理法と合特法」

林勘市法律事務所 代表弁護士 林 勘市 様

大垣市議会議員 横山 幸司 様

全国環整連 適正処理推進部会 部会長 谷山 紀行

委員長 田中 複一

岐環協 適正処理・合理化対策部会 部会長 梅村 政弘

パネル
ディスカッション

講 師



林勘市法律事務所 代表弁護士
林 勘市 (はやし かんいち)

【プロフィール】

昭和25年 9月 岐阜県本巣郡北方町出生
昭和44年 3月 岐阜県立岐阜高等学校卒業
昭和48年 3月 中央大学法学部法律学科卒業
昭和51年10月 司法試験合格
昭和52年 4月 最高裁判所司法研修所入所（第31期）
昭和54年 4月 東京地方検察庁検事
昭和55年 3月 山形地方検察庁検事
昭和58年 3月 仙台法務局訴務部付検事
昭和61年 3月 東京地方検察庁検事
昭和63年 4月 第一東京弁護士会登録弁護士

【会務歴】

平成12年 4月 第一東京弁護士会副会長
平成14年 1月 最高裁判所司法研修所刑事弁護教官
平成18年 4月 弁護士国民年金基金代議員
平成20年 4月 東京都弁護士協同組合理事
関東弁護士会連合会常務理事
平成20年 5月 一弁財務委員会委員長
平成22年 4月 一弁国際交流委員会委員長
平成24年 4月 日本弁護士連合会常務理事

【外部委員等】

平成18年 4月 慶應義塾大学法科大学院講師
平成18年11月 新司法試験考查委員
平成19年 4月 中央大学法科大学院客員教授
平成25年 5月 中央大学法曹会幹事長
平成26年 5月 学校法人中央大学常任理事

分科会

B会場 「浄化槽」 西館2階「ロイヤルホール(雪の間)」

司会 高山 浩一

【第一部】

・14:30～15:00

講演 「浄化槽と水処理技術」 常葉大学教授 小川 浩 様

・15:00～15:40

「浄化槽の問題点、水再生システム資料説明」

・15:40～16:10

「3業種連携維持管理による事例報告」

保守点検 横井 誠

清掃 斎藤 憲一

法定検査 赤羽根 智加人

・16:10～16:20 休憩

【第二部】

・16:20～17:30

パネル
ディスカッション

テーマ「適正な浄化槽維持管理」

常葉大学 教授 小川 浩 様

岐阜県 環境生活部廃棄物対策課 課長補佐 八代 英彦 様

全国環整連 浄化槽部会 部会長 牧野 好晃

全国環整連 水再生システム委員会 委員長 宮原 靖明

講 師



常葉大学社会環境学部 教授

小川 浩 (おがわ ひろし)

【プロフィール】

昭和52年 3月 東京理科大学理学部化学科卒業
平成14年 4月 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科博士後期課程入学
平成17年 3月 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科博士後期課程修了
博士（環境科学）
昭和56年10月 日本ヘルス工業（株）退社
昭和56年11月 (財)日本環境整備教育センター入所
平成22年 3月 (財)日本環境整備教育センター退職
平成22年 4月 富士常葉大学環境防災学部 教授
平成25年 4月 常葉大学社会環境学部 教授
現在に至る

主な研究テーマ

- 1) 小型合併処理浄化槽の開発と実用化に向けた方策
- 2) 小型合併処理浄化槽の清掃汚泥量に影響を及ぼす因子
- 3) 住宅の給水量による生活排水量の予測
- 4) FRP製浄化槽の耐久性に関する研究
- 5) コミュニティ・プラントにおける流入条件と処理機能の評価
- 6) 小型合併処理浄化槽の嫌気ろ床における浮遊物補足と有機物除去の特性評価
- 7) 合併処理浄化槽における環境ホルモン様物質の動態評価
- 8) し尿処理施設のし尿・浄化槽汚泥搬入量に関する実態と将来予測
- 9) 汚水処理施設の効率的整備に関する経済的評価
- 10) 無水式小便器の開発と適応可能性に関する経済的評価
- 11) 浄化槽を活用した生活排水処理施設整備手法の検討
- 12) 人口減少を踏まえた生活排水処理施設整備手法の評価システムの構築
- 13) 人口減少とインフラ老朽化時代における生活排水処理システムの持続的マネジメント戦略

分科会

C会場 「ごみ」 本館2階「孔雀の間」

司会 黒瀬 秀哉

【第一部】

・14:30～15:00

講演 「廃棄物処理に関する最近の課題について」

環境省大臣官房

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課課長 濑川 恵子 様

・15:00～15:20

講演 「岐阜県におけるゴミ処分状況と課題」

岐阜県 環境生活部廃棄物対策課課長 大坪 敬明 様

・15:20～16:00

講演 「ダイコー事件が残した法の課題と事業者責任」

千葉県 県土整備部 用地課 土地取引調査室 室長 石渡 正佳 様

・16:00～16:10 休憩

【第二部】

・16:10～17:30

パネル
ディスカッション

テーマ「壱番屋事件からみた廃棄物の適正処理」

千葉県 県土整備部用地課土地取引調査室 室長 石渡 正佳 様

岐阜県 環境生活部廃棄物対策課 課長 大坪 敬明 様

全国環整連 循環資源推進部会 部会長 小山 浩

岐阜県環境整備事業協同組合 近江 則明

全国環整連 循環資源推進部会 関根 信

岐阜県環境整備事業協同組合 大村 洋之

講 師

環境省大臣官房

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課課長

瀬川 恵子（せがわ けいこ）

【プロフィール】

平成元年、厚生省入省後、環境庁出向（それぞれ当時）。
環境省広報室長、化学物質審査室長、環境影響審査室長、国際
連携課長等を経て、平成28年6月に廃棄物対策課長に就任。

講 師



岐阜県環境生活部廃棄物対策課長
大坪 敬明 (おおつぼ ひろあき)

【プロフィール】

昭和60年4月 岐阜県入庁

平成 5年4月 大垣保健所環境課環境衛生係 主任技師

平成 9年4月 健康福祉環境部廃棄物対策課産業廃棄物係
技術主査

平成17年4月 環境生活部廃棄物対策課
技術課長補佐兼産業廃棄物係長

平成22年4月 中濃振興局環境課 課長

平成24年4月 環境生活部清流の国ぎふづくり推進課
地球温暖化対策監

平成27年4月 環境生活部廃棄物対策課 課長
現在に至る

講 師



千葉県 県土整備部 用地課
土地取引調査室 室長
元産廃Gメン
石渡 正佳 (いしわた まさよし)

【プロフィール】

1958年生まれ。

1981年に千葉県入庁。1996年から産業廃棄物行政を担当し、千葉県で活躍している産廃Gメン「グリーンキャップ」の創設にかかわった。

2001年には、全国でも最大級の不法投棄常習地帯といわれた銚子地域の監視チームリーダーとして、短期間で同地域の不法投棄ゼロを達成した。

税務調査的な立入検査手法を用いて集められたデータの分析によって、不法投棄の実態やアウトローの経済を構造的に解明した『産廃コネクション』(WAVE出版 2002年)で一躍注目を集め、日経BP・BizTech図書賞を受賞した。そのほか『リサイクルアンダーワールド』(WAVE出版 2004年)、『スクラップエコノミー』(日経BP社 2005年)、『産廃ビジネスの経営学』(ちくま新書 2005年)など著書多数。最新刊は2016年1月に愛知県で発覚した廃棄食品転売事件の真相を解明した『食品廃棄の裏側』(日経BP社 2016年)。

現在、現役公務員として、不法投棄を撲滅するための経済界を巻き込んだ取り組みや、地方自治改革などについて全国的な講演活動を展開している。また、産廃Gメンの経験を基に開発した産廃処理業者公開情報診断法「iメソッド」の普及のため「iメソッドフォーラム」を設立し、産廃処理・リサイクル事業者の優良化を支援している。

懇親会

日 程	平成28年10月31日（月）
受 付	17：30～
懇親会	18：00～
会 場	岐阜グランドホテル西館地下1階 「ロイヤルシアター」

次 第

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 来賓祝辞
4. 来賓紹介
5. 乾杯
6. 懇親・アトラクション
7. 閉会挨拶
8. 閉会

方針・本会議

日 程	平成28年11月1日（火）
受 付	8：30～
方針・本会議	9：30～13：00
会 場	岐阜グランドホテル西館地下1階 「ロイヤルシアター」

方針

- 1 適正処理推進部会
- 2 凈化槽部会
- 3 下水道部会
- 4 循環資源推進部会
- 5 事業部会
- 6 青年部会
- 7 質疑応答

本会議

- 1 開会
- 2 会長所信表明
- 3 政府に対する要望決議
- 4 大会スローガン
- 5 大会宣言
- 6 次期開催地発表
- 7 大会旗継承
- 8 次期開催地理事長挨拶
- 9 万歳三唱
- 10 閉会の辞
- 11 閉会



岐阜県環境整備事業協同組合
全国大会実行委員会

〒500-8357 岐阜県岐阜市六条大溝4丁目13番6号

TEL 058-274-0567
FAX 058-275-2712

